



TITLE:

編集後記

AUTHOR(S):

CITATION:

編集後記. 哲学論叢 1986, 13

ISSUE DATE:

1986-07-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/24497>

RIGHT:

編集後記

窓外に落花慈雨の柔い響きを聞きながら、本年も漸く論叢Ⅻ号の最終原稿をとりまとめるに至り、安堵の一息をついています。もとより、幾多の師友先輩の暖く勿体ない御支えと御励ましに守られての共同の営みであることを覚念させられた一年でもありました。

こうして備えられた器の中に、日頃の思索と研鑽を盛り込むべく奮励努力された執筆者諸兄の労に感謝すると共に、更に、その内実そのものが語り出す饗宴の場として論叢が用いられれば、編集子達の望外の幸であります。

Ⅻ号に至る年輪の厚みを感じつつ、思索の深みをいささかなりとも惚せにせず、単独にして共同の歩みを歩み抜いて参りたいと思います。

昭和49年2月1日 第1号 発行
昭和61年7月1日 第13号 発行

定価1,000円

発行者 哲学論叢刊行会

〒606 京都市左京区吉田本町 京都大学文学部哲学研究室内

TEL 075—751—2111 (内) 2754

振替口座 第一勧業銀行百万遍支店 476-1105014

印刷所 昭和堂印刷所

〒606 京都市左京区百万遍交差点上ル東側

TEL 075—721—4541 (代)